

新設岡山盲・聾学校新校舎等の整備について

I これまでの経緯

1 背景

岡山盲学校及び岡山聾学校は、両校とも校舎の建築から約40年～50年が経過し、施設・設備の老朽化が進むとともに、児童生徒等数が減少し、集団での学習活動の実施が難しい状況になっており、教育環境の再構築が必要となっている。

2 基本構想検討委員会での検討

本県の視覚障害教育及び聴覚障害教育のさらなる充実を図るため、有識者や関係団体等で構成する「岡山盲学校及び岡山聾学校の校舎等整備に係る基本構想検討委員会」を設置し、幅広く意見を聴取した上で、令和5年度末に基本構想をとりまとめた。

II 基本計画の骨子案

1 基本方針（基本構想で決定）

- (1) これまで、岡山盲学校及び岡山聾学校が行ってきた高い専門性に基づいた視覚障害教育、聴覚障害教育を継承する学校を整備する。
- (2) 障害特性の異なる児童生徒等が同じ敷地内で学校生活を過ごす状況を踏まえ、基本的な生活空間の分離や動線の工夫などにより、児童生徒等が安心して教育を受けることができる環境を整備する。
- (3) 視覚障害、聴覚障害のある児童生徒等や、保護者等に対する幅広い教育的支援の充実を図るため、特別支援教育のセンター的機能を発揮できる学校を整備する。

2 施設整備の概要

【整備場所】

○岡山聾学校の現運動場（岡山市中区土田5-1）

【整備形態】

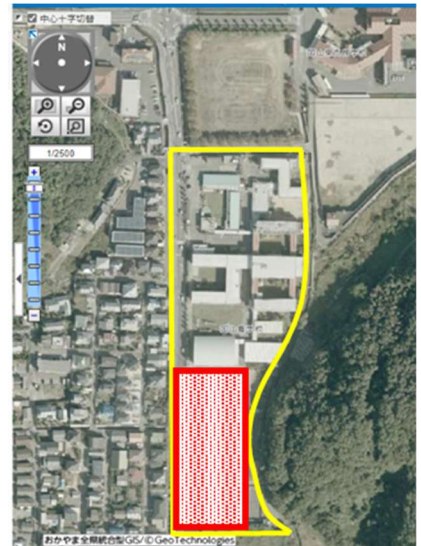
- 視覚障害教育部門と聴覚障害教育部門を併設した新しい一体型の学校を設置する。
- 共用部分を除き、視覚障害教育部門の建物と聴覚障害教育部門の建物を別棟にするなど、基本的な生活空間を分離した併置タイプとする。

【施設規模】

- 鉄骨造等 3階建て 約11,500㎡
- 児童生徒等100人規模 全県学区

【事業費】

○約6.3億円（見込み）



3 整備スケジュール（予定）

- | | |
|--------|--|
| 令和6年度 | 基本計画の策定（大規模施設建設事業評価委員会、パブリック・コメントの実施） |
| 7～8年度 | 基本設計・実施設計 |
| 9～11年度 | 建設工事、校名・校歌等決定 |
| 12年度 | 開校（基本構想策定時の令和11年度予定から1年延期） （延期の理由）基本設計と実施設計の期間を合わせて1年間と予定していたが、詳細に検討した結果、1年半程度を要するため。 |